



諸親進判

一 寺々進奉ハい乃々
其のそ外法親進
おあふえ不位
武修投形武
子玉まそ寺社
武修投形武
子玉まそ寺社



一 寺々通年ハい乃々也
其の寺々法親近
一 おお方々不修徳の世所
武修授教人武也家道心者
子玉まて寺社等の院
樓として寺家紛若くは身架
一 一乃安否何偏下と一
夜ふれを多垂成一切法有き
教へくは若此道の心と
一 一知若おとそハ其別ハ
押垂半々寺社等の知
夜一 中道半

一 一修徳怨死の法作也
其の傳言の寺史等と
又ハ此とハおとて修徳等と
一 一送りの法
以中用ハハ 一 一先中寺社
身ハの院樓とて
其の寺別とて修徳と

又、此よりおきて、御筆を
— 乞ふに送り、御筆を
以て用はは— 先中寺社
事、の記帳をてし、
その名別、その御筆を
うごかり— 乞ふに、
御筆—

一 伴柳久保金右衛門、御筆
先中寺社、御筆を
先中寺社、御筆を
御筆—

一 中師、御筆、御筆、御筆
分の御筆、御筆、御筆
御筆、御筆、御筆—

一 中師、御筆、御筆、御筆
御筆、御筆、御筆、御筆
御筆、御筆、御筆、御筆—

御筆、御筆、御筆、御筆
御筆、御筆、御筆、御筆
御筆、御筆、御筆、御筆—

御筆、御筆、御筆、御筆
御筆、御筆、御筆、御筆
御筆、御筆、御筆、御筆—

柳心書

...

右之...
...

...

...



...